

グループ会議における提案、検討内容の整理表

| | | 第1グループ | 第2グループ | 第3グループ | |
|------------|-----------------------------|--|---|--|---|
| 前文 | 前文の目的、位置づけ (本文との関係等) | 台東区らしさを伝えるとともに、憲章策定の目的を表現したい | 本文で言いたいことを前文でも表現することで、本文の趣旨を伝えやすくする工夫をする。 | - | |
| | 内容 | 区の地理(地名表現) | 芭蕉の俳句の活用方針に関連して、上野・浅草に限定して地名を用いることに対する懸念が示された | - | *台東区全体としての地理的な情報や、特徴、自然環境などを盛り込む *存在場所を一言で表す言葉を、地名を使わずに表現したい。「下町」という言葉は、台東区の他にもあるので弱い印象がある。 |
| | | 区の歴史 | 匠の技の継承(台東区に伝わる、職人の技術を残し、伝えていく) | - | |
| | | 区民憲章策定の目的 | 台東区の文化等の資源を次の世代に継承し、台東区のまちづくりの考え方、理念を伝えたい | - | - |
| | | 区民憲章の意義 | 同上 | 「次代、未来につなぐため、未来への誓い」といった趣旨 | - |
| | | その他 | - | - | - |
| 表現 | 盛り込みたい言葉 | 芭蕉の俳句の活用(グループ内で意見の統一が図れなかった為、両論を併記する) *活用のメリットと方向性:台東区らしさを強く印象づけることができ、区のイメージを現す表現として活用することが想定される *活用の問題点:句自体の印象が強すぎ、他の文章の印象が薄れる可能性や、上野・浅草にイメージが偏る可能性がある | 「松尾芭蕉の俳句」や「台東区の歌」を使用するか否かという点については、当グループでは判断できなかった。 そのため、起草委員会で前文を表現する際、これらを用いることでうまく表現できるということであれば、使用することを検討してもらえばよい。 | 地名は、読む人によって、マイナスのイメージを抱かせる恐れがあり、また、時代によって移ろう可能性もあるため盛り込まない方がよい。 *浅草を表現する抽象的な言葉 ・粋などの下町文化と伝統・お祭りや観光によるにぎわい ・昔ながらの下町情緒 *上野を表現する抽象的な言葉 ・明治期からの歴史的な資産・芸術や文化の発信地 | |
| | その他(文章表現等) | - | - | *自然な流れで本文へとつながるような内容、表現とする。 | |
| 本文 | 特に大切にしたい内容 | *家族をいつくしむ心 *地域社会で子どもを健全に育てるの2点を最も大切にしたい。 | | *「思いやり」が大事 *「おもてなし」はこれまでの区民会議で議論を重ねた言葉 | |
| | 内容 | 第1 | 家族、子育て、教育 *地域が一体となって、子どもの教育を大切にし健康的に育てる *家族をいつくしんで、健康で明るい家庭を育てる | 安心・安全 *困ったときは助け合い、楽しいときは喜びを分かち合える近所づきあいを創ります *自分のことよりも先に相手のことを思いやる心やお互いに支え合う気持ちを育てます | 歴史・文化 *先人の残した歴史や文化を大切に守り、育て、後世に伝えていく |
| | | 第2 | にぎわい、観光 *たくさんの人が訪れ、おおいに賑わい、皆が楽しめるまちにする | 自然・環境 *緑や水のうるおい溢れるまちを創るため、わたしたちは自然を守り、増やす努力をします | 思いやり *自分のことよりも先に相手のことを思いやる心や、お互いに支え合う気持ちを大切に *困ったときは助け合い、楽しいときは喜びを分かち合える近所づきあいを大切に |
| | | 第3 | 安心して暮らせる支え合いのまち、お互いを思いやる心 *世代を越えて助け合う、人情のまちにする *お互いに譲り合い、支え合い、安心して心地よいまちにする | 学び *「あいさつ」を大切に、世代間で学び・学び合う関係を大切にします | おもてなし *まちに来てくれる方を大切におもてなしする |
| | | 第4 | 文化資源、自然資源 *先人が残した自然、文化財や江戸文化を大切に守り、後世に渡していく *うつくしく、みどりはぐくむゆたかなまちにする | 観光・交流 *おとなりさんから海外の人まで、心地よく過ごせるよう、おもてなしする心を持って暮らします。 | にぎわい *お祭りや観光、働く人々によっていつもにぎわいのあるまち *笑顔があふれ、元気な声がひびく、いきいきとしたまち *夢や生きがいを実現することができるまち *子どもや若者が元気に学び、働いているまち |
| | | 第5 | いきがいづくり *友人の輪を広げ、仕事、学び、ボランティアなど生きがい育てる | 歴史・文化継承 *台東区の歴史・文化を築き上げてきた先人の「心」を受け継ぎ、次代に伝えます | 安全・安心 *安全で、安心して暮らし続けられるまち *身近な緑など自然環境を大切に |
| | 表現 | 盛り込みたい言葉 | *いつくしむ心(家族を、友人を、隣人を、等) *「いき」(イメージの広がりを大切にするため、ひらがなで) | ・憲章では、人ごとや行政へのお願い事になってしまわないように「ともに」といった表現で、主体的に取り組むような形にすべきである。 | 思いやり、おもてなし、きずな |
| その他(文章表現等) | | | ・5ヶ条は順不同 ・5ヶ条を実現することを台東区の未来に誓う | 区民ができること、自らの思いを表現しようとするれば、「台東区民はをします」というような表現になるのでは。 | |
| 検討課題 | *1つの柱に含まれている大切にしたい2つの事項の取扱い | | - | *「安全・安心」という言葉に代わる表現 *具体的な実践内容の表現の是非 | |
| タイトル | - | | *「未来への誓い」といった副題があった方がよい | *「誓いの言葉」という副題 | |